

3. 水族館観覧者月別集計（1985年4月—1986年3月）

月	有 料						無料	前年 有料
	個 人		団 体		計 名	料金 円		
	大 人	小 人	大 人	小 人				
4	10,077	2,395	523	815	13,810	3,819,900	38	17,395
5	10,543	1,239	984	505	13,271	4,057,300	41	14,725
6	5,663	357	558	30	6,608	2,167,900	17	7,017
7	10,119	2,267	249	1,484	14,119	3,759,380	53	15,730
8	24,732	9,840	354	394	35,320	9,262,280	22	35,762
9	8,675	950	427	9	10,061	3,212,030	10	9,981
10	6,625	317	677	1,044	8,663	2,558,580	48	9,342
11	8,466	920	632	548	10,566	3,209,660	33	9,133
12	3,237	249	201	82	3,769	1,207,340	8	4,310
1	6,192	946	56	2	7,196	2,231,340	2	7,056
2	7,486	383	530	64	8,463	2,799,530	18	9,122
3	15,059	2,868	562	1,026	19,515	5,603,170	48	17,101
計	116,811	22,731	5,753	6,003	151,361	43,888,410	338	156,674

☆上記の観覧者には、臨海実習等で実験所を利用した学生や教官、ならびに外来研究者等の来訪者は含まれていない。



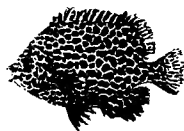
第2水槽室南側

京都大学白浜水族館 水槽配置図

101-418の数字は水槽番号

矢印は観覧順序

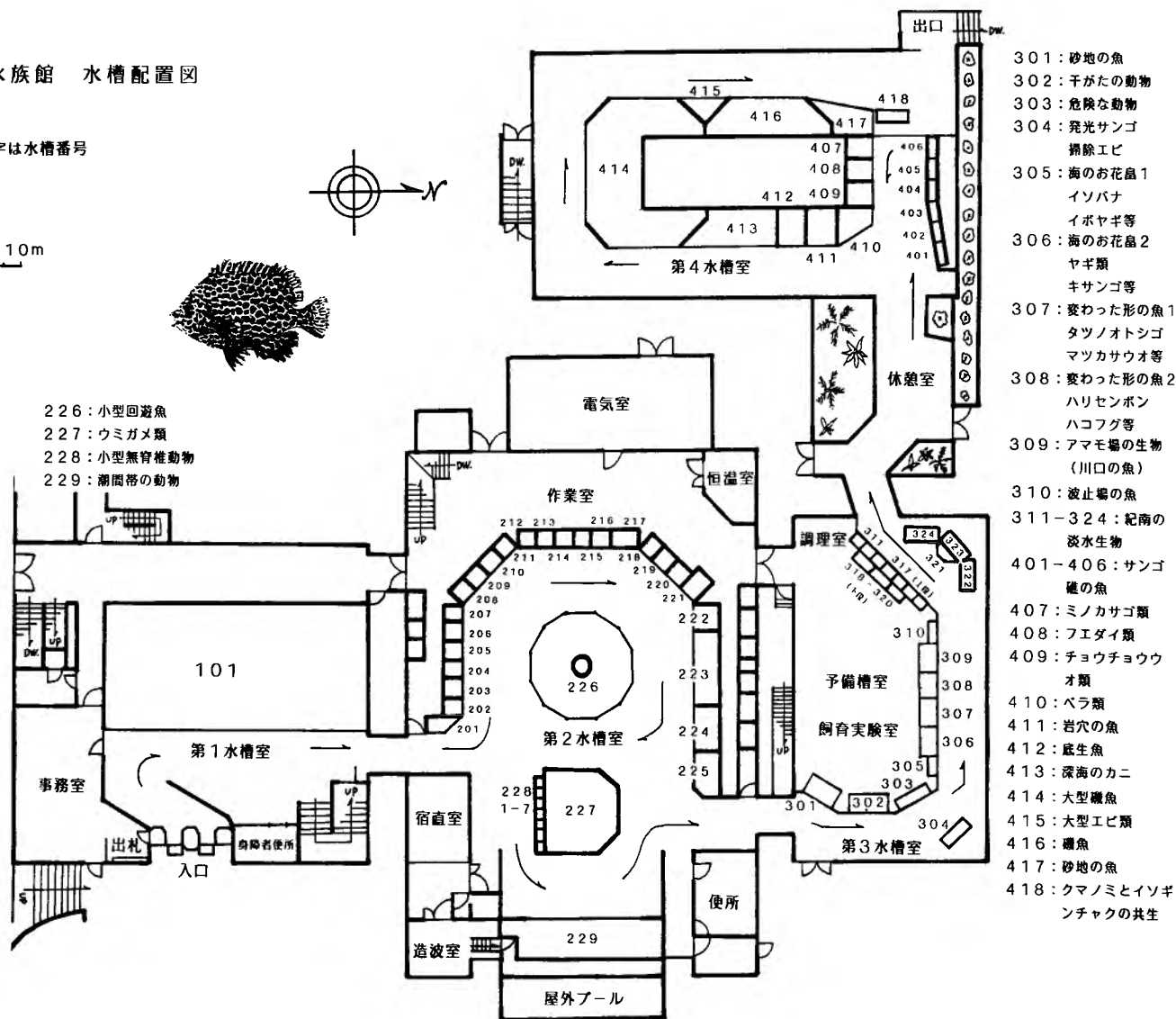
0 5 10m



主な飼育展示動物

- 101: サメ・エイ類
大型回遊魚
- 201: 造礁サンゴ
- 202: 砂地のイソギンチャク
- 203: ウミトサカ類
- 204: ハナギンチャク
- 205: 岩礁の巻貝1
- 206: 岩礁の巻貝2
- 207: 砂地の巻貝
- 208: タコ類
- 209: 岩礁のエビ類
- 210: 砂地のエビ類
- 211: ヤドカリ類
- 212: 岩礁のカニ類
- 213: 砂地のカニ類
- 214: ウミシダ類
- 215: ヒトデ類1
- 216: ウニ類1
- 217: ヒトデ類2
- 218: ウニ類2
- 219: ナマコ類
- 220: ホヤ類
- 221: カサゴ類
- 222: 餌取り魚
- 223: 磯魚1
- 224: 磯魚2
- 225: タイ類

- 226: 小型回遊魚
- 227: ウミガメ類
- 228: 小型無脊椎動物
- 229: 潮間帯の動物



- 301: 砂地の魚
- 302: 干がたの動物
- 303: 危険な動物
- 304: 発光サンゴ
掃除エビ
- 305: 海のお花晶1
イソバナ
イボヤギ等
- 306: 海のお花晶2
ヤギ類
キサンゴ等
- 307: 変わった形の魚1
タツノオトシゴ
マツカサウオ等
- 308: 変わった形の魚2
ハリセンボン
ハコフグ等
- 309: アマモ場の生物
(川口の魚)
- 310: 波止場の魚
- 311-324: 紀南の
淡水生物
- 401-406: サンゴ
礁の魚
- 407: ミノカサゴ類
- 408: フェイダイ類
- 409: チョウチョウウ
オ類
- 410: ペラ類
- 411: 岩穴の魚
- 412: 底生魚
- 413: 深海のカニ
- 414: 大型磯魚
- 415: 大型エビ類
- 416: 磯魚
- 417: 砂地の魚
- 418: クマノミとイソギ
ンチャクの共生